

## ★波板の張替え

カースペースや物置などの屋根材として使われるプラスチック製の波板。張り替えて3～4年経つと色があせて汚れが目立つようになります。素人でも簡単に貼りかえられるので挑戦してみましょう。

### ★寸法を はかる…

古い波板をはずす前に寸法をはかり、材料の長さの見積もりをだしましょう。波板は、70cm幅で長さが90cm、180cm、210cm、240cm、270cmとあるのでちょうどよい長さのものを選びましょう。長さは、屋根の棧に雨水があたらないように、棧の先端よりも10～15cmほど、外に出るように寸法を出します。重なる部分の寸法も忘れないようにプラスしましょう。

### 古い波板をとりはずす…

波板用のクギは、頭をひっかきにくいのでクギのまわりの波板をカナヅチなどでたたき壊して、クギの頭を出してからバールで抜きます。さびて抜きにくい場合は、クギをペンチで固定し、カナヅチでたたいて、抜きやすくします。

### 棧にペンキを塗る…

波板を取りはずした棧は、波板を張る前にペンキを塗りましょう。はがれている古い塗料をワイヤーブラシやスクレーパーでそぎ落とし、汚れをボロ布などでふきとります。防腐材入りの塗料で塗っておくとよいでしょう。

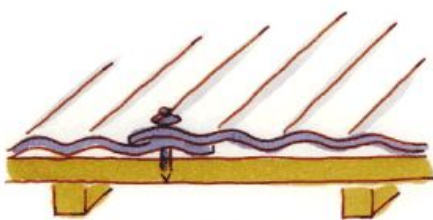
### 波板を切る…



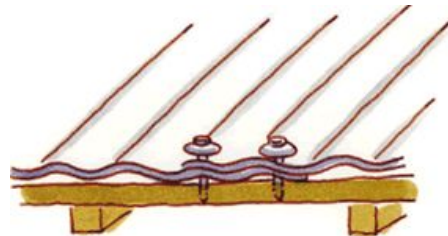
横方向に切るときは、波板用のハサミか 金切りバサミを使います。波板の山にあわせて ゆっくりと カットします。縦方向に切るときは、谷の部分にカッターで切り込みを入れ、折るようにします。切り口は、サンドペーパーをかけて滑らかにしておきます。

### 波板を張る…

左右どちらか一方の端から、順序よく張っていきます。一番最初に張る波板は、端の棧からひと山分外側に出るように張り、軒からは約10cm外側へ出るようにすると、見た目もきれいです。



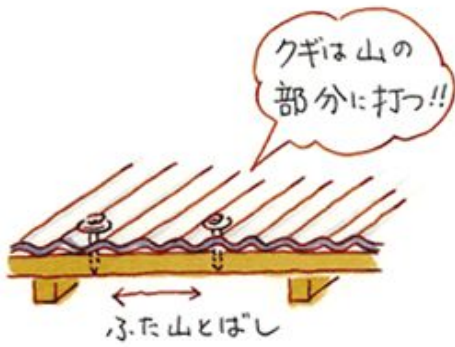
ひと山重ね



ふた山重ね

波板を重ねるときは、低い側から張っていきます。反対に重ねると雨水が浸入してしまいます。

ふた山重ねは、強い雨風にさらされても雨水が入り込むのを防いでとても丈夫です。



クギは、かならず山の部分に打ちます。  
谷の部分にうつと、そこから雨水がもれることがあります。  
間隔は、ふた山とばしで、波板が重なる部分は必ず固定します。  
下の棧がある部分にうちつけますが、下の棧の古いクギ穴と同じ場所に打つと、しっかりとクギがとまらないので気をつけます。  
クギを打つ前には、電気ドリルで波板にだけ穴をあけておきましょう。  
また、クギにはフェルトや軟質ビニール製の雨押さえ用のキャップを差し込みます。



波板用の座金を使うと さらに丈夫になります。  
この座金は、両端の部分が バネのようになり、波板の山3つ分を 押さえることができます。